

広報



まきへつ

わたしたちのまち
 (昭和57年4月1日現在)
 人口 21,156 (-71)
 男 10,455 (-36)
 女 10,701 (-35)
 世帯数 6,244 (-18)
 —人のうごき(3月中)—
 転入 163人 死亡 10人
 出生 27人 転出 251人

生きる喜びを創造するまち・幕別町 (新総合振興計画)



57年

5

No.364

おもな内容

国勢調査統計まとまる	2・3
老人福祉センター 働く婦人の家 完成	4
人事異動(4月1日付)	4・5
増え続ける救急出動	5
安全運転で楽しい行楽を	6
皆さんの要望や苦情を	7
健康カルテ⑬ 腰痛	7
ふるさと館ニュース⑩	8

青空高く コイのぼり

5月5日のこどもの日を前に、町立みどり保育所の園児65人が、コイのぼりをあげました。皆さんで綱を持って「よいしょ、よいしょ」春風をすって大きくなびくコイのぼりを見上げ、大声で喜んでいました。

●発行・幕別町役場 幕別町本町130番地 ☎(01555)4-2111
 ●編集・町民課広報広聴係 ☎内線111 ●印刷・ソーゴ印刷

国勢調査から

核家族化とベットタウン化が特徴

建設業と卸・小売業が大幅な増加

産業別就業人口

国の最も重要な指定統計である国勢調査は、大正九年十月一日に第一回目の調査をされてから、五年毎に実施しています。今回の調査は第十三回目で、昭和五十五年十月一日に皆さんのご協力を得て実施しました。その結果が、総理府統計局から今年の三月に公表され、本町の世帯数は五千八百七十八

世帯、人口二万八千四百四十人となりました。前回調査の昭和五十年と比較すると、世帯数八百六十一世帯、人口二千六百四十人それぞれ増加となりました。なお、調査の一部を掲載しますので詳細については、総務部企画財政課統計へお問い合わせください。

世帯数

出、規模拡大、千住・依田地区は札内市街の近郊、明野地区は町の工業団地の造成によるものです。あとの非市街地では減少しています。特に糠内・美川・明倫地区が百二十四人、駒島・弘和地区が百十四人と大幅に減少しています。

世帯数では、前回調査より八百六十一世帯（一七％）が増加しています。増加したのは市街地区、八百七十七世帯で、理由は人口の増加と比例しているといえます。

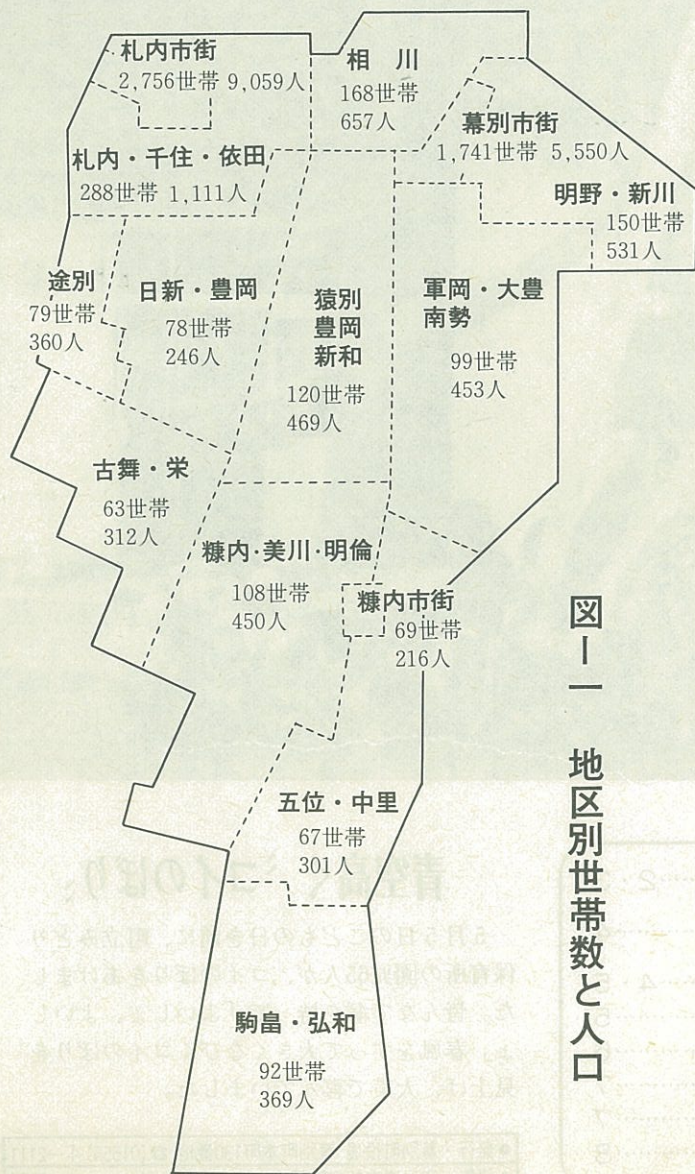
世帯当りの家族人員は、人口の増加二千六百四十人、世帯数八百六

人 □

昭和五十五年十月一日調査を地区別人口（表一）で、前回の調査と比較してみますと、市街地区では総体で二千三十二人（一六％）増加し、札内市街は二千八百八人増加、幕別市街は四十五人、糠内市街は三十一人それぞれ減少しました。札内市街の増加の大きな理由は、住宅団地の造成や、帯広市のベットタウン化によるほか、町内の離農者が帯広近郊ということから札内へ転居した者、幕別市街に住んでいて、帯広への通勤の関係から札内に住宅を持つなどが原因と思われる。

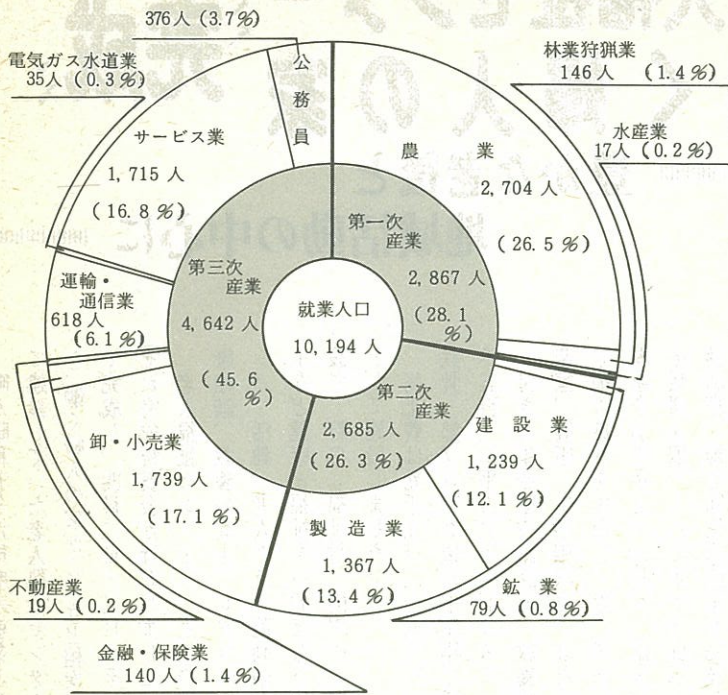
非市街地の人口は総体で三百九十二人（七％）の減少しています。その理由は、まだ、離農が続いていること、などが原因と考えられます。

この調査を更に細分化し、各地区（図一）でみた人口は、増加したのは日新、千住・依田、明野地区で、日新地区は肉牛牧場の進



図一 地区別世帯数と人口

図-2 産業別就業人口



十一世帯で、単純に増加した分のみならず、世帯当り一・九人になっていきます。総体的にみまると前回調査では、世帯当り三・七人に對して、今回の調査では三・四人に減少しています。

このように、人口の増加より世帯の増加が上回っているということは、それだけ核家族化が、ますます進んでいることとなります。

産業別人口

産業別就業人口は、図一・二のとおりですが、前回調査と比較しますと、総体で九百三十人(二〇%)増加しています。

第一次産業別就業人口では一・一%減少し、そのなかで特に農業が一・六%も減少しています。第二次産業別就業人口では二・二%の増加で、建設業が四・二%と大きく増加。第三次産業別就業人口では二・一%増加し、卸・小売業が二・九%増加、サービス業一・八%の増加が目立っています。

この産業別就業人口で、第二次産業、第三次産業が増加していることは、市街地に人口が集中してきているものと思われま。

今回の調査の内訳では、農業が全体の二六・五%で一番多く、や

年齢別人口

はり農業が幕別町の基幹産業といえます。続いて、卸・小売業、サービス業、製造業、建設業の順になっています。

年齢別の人口を年少人口(十四才以下)生産年齢人口(十五才から六十四才)老年人口(六十五才以上)の構成で見ると、年少人口二五・〇%(五千十二人)生産年齢人口六六・一%(一万三千二百八十三人)老年人口八・九%(一千七百八十九人)となっています。

これを、十勝管内の人口と比較してみると、年少人口の割合が管内で一番多いことがわかりました。その内訳を五才段階で見ると、五才から九才が一千九百三人、三十才から三十四才が一千九百三十五人と目立って多いことがわかりました。これは、親と子の年齢になり、町内には若い人が多いということになります。その理由としては、特に帯広市のベットタウン化している札内地区に、多いということが考えられます。

人口増加を考える

老年人口は、一千七百八十九人で、前回調査と比較すると三・二%伸びています。これは、人口が増加したのと、医学の進歩により寿命が伸びたことが考えられます。

そこで、人口等が増加したこと

表-1 5年間の人口の動き

区分	昭和50年国調		昭和55年国調	
	人口	世帯数	人口	世帯数
幕別市街地区	5,595	1,646	5,550	1,741
非市街地区	2,307	540	2,110	537
札内市街地区	6,951	2,033	9,059	2,756
非市街地区	1,922	429	2,029	508
糠内市街地区	247	70	216	69
非市街地区	1,422	299	1,120	267
計市街地区	12,793	3,749	14,825	4,566
非市街地区	5,651	1,268	5,259	1,312
合計	18,444	5,017	20,084	5,878

について考えてみたいと思います。本町では、最初に団地造成し分譲したのが、昭和三十八年の新生勤労者団地(現在の南町)で、それから毎年のように住宅団地の造成分譲を行い、幕別地区では七百十区画、札内地区では二千二百十区画、あわせて二千九百二十区画を行い、特に札内地区が帯広市に近いという、地理的条件と、工業団地の造成が本町の人口動態に大きく影響しているといえましよう。

参考までに本町の最新総合振興計画は、昭和六十年度で二万三千五百人を想定し、その目標人口(四月一日現在の住民登録人口は二万一千百五十六人)に近づいてきています。

このように、他の町村の人口減少(音更町・芽室町を除く)に反して人口が増加しているということは、今後の町政をすすめるうえでの、大きな指針になることでしょう。

博勝千

北方圏農林博覧会

■ところ/北海道帯広市 旧帯広空港跡地

'82 7/17(土) - 9/5(日) 51日間

■主催 帯広市 帯広商工会議所 十勝毎日新聞社

■後援 北海道ほか

■前売券あります■

「こんにちは、緑の21世紀」と題して、十勝博覧会が開かれます。その前売券を次の所

で扱っています。役場一開発商工課、支所、出張所 幕別農協一管理部 札内農協一管理課 幕別商工会 ●料金 大人(1,000円) 高校生(700円) 小中学生(500円) 三才以上(100円)

老人福祉センター 完成、働く婦人の家

豊かな老後と 地域活動の中心に



老人福祉センターであいさつをする大石町長

町が昭和五十六年度の事業として建設していた老人福祉センターと、働く婦人の家がこのほど相次いで完成し、四月二日と三日にそれぞれ完成祝賀会が行われました。老人福祉センターは、生活や健康相談、教養の向上、レクリエーション活動、老人クラブ運動の向上など健康と福祉を目的とした施設で、町の「福祉村」構想の一環として建設しました。

総工費は九千九百八十五万円、鉄骨一部ブロック造り平屋建て延べ五百三十平方メートルで内部はステージ付きの集会所や談話室、教養娯楽室、健康・生活相談室、また、立地の良さを生かし、近くでわく温泉を引き込んだ浴室や、温泉水床暖房を取り入れた廊下と展示・談話室、機能回復訓練室も完備しています。

利用対象者は六十五歳以上の町民で利用料金は無料です。各方面へ福祉バスを運行していますので大いに利用して下さい。一方、働く婦人の家は働く婦人の皆さんの日常生活の援助と、あわせて地域の皆さんの地域活動の増進を図ることを目的に建設しました。総工費は一億三百六十三万円。鉄筋コンクリート構造一部二階建て延べ六百十平方メートルで講堂や調



完成した働く婦人の家

理実習室、軽運動場などが設けられています。幅広い婦人活動のために利用して下さい。

幕別 郵便局移転新築 今年の秋に完成

長い間、町民の皆さんに親しまれていました、幕別・札内両郵便局が相次いで移転新築し、今秋完成することになりました。

幕別郵便局は昭和三十一年に現局舎が建築され、以来、国道三八号線の交通量の増加による騒音やトラックが局舎に突っ込むなど、危険局舎に指定。そのため移転新築することになりました。

新局舎は昨年十二月に着工、九月に完成予定です。場所は本町五一番地で、鉄筋コンクリート平屋建て四百八十三平方メートル。内部は窓口が現在の倍の三十五平方メートルと大幅に広くなり、入り口は自動ドアで身障者スロープ

も設けられ、大変利用しやすくなっています。また、利用客専用の駐車場と自転車置場も完備されます。

一方、札内郵便局は昭和四十一年に現局舎が建築されましたが、近年、札内地区の人口急増に伴いせまくなり、将来もかなりの人口増が見込まれるため、移転新築することになったものです。新局舎は四月に着工、十一月に完成予定です。場所は札内青葉町三十一番地で、鉄筋コンクリート平屋建て一千十三平方メートル。建物の規模は現局舎の四倍と大変広くなります。

人事異動 四月一日付

四月一日付で役場の人事異動があり、教育委員会では教育次長(部長職)制度が新設されました。

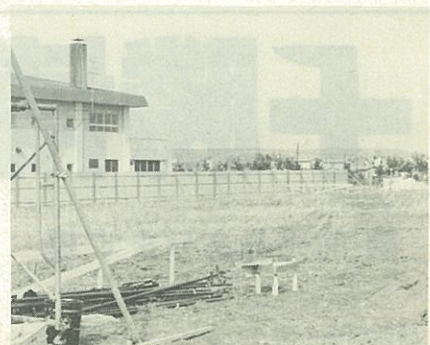
○総務部

〔総務課〕▽総務課長(教育委員 社会教育課長) 林照男 ▽職員係 川瀬俊彦 ▽管財係 橋本孝男

〔企画財政課〕▽企画財政課長(総務課長) 清水雅 ▽企画係 長兼統計係長(民生課福祉係長) 岡田和夫 ▽財政係 飯田晴義

〔税務課〕▽住民税係 仲上雄治 ▽資産税係 飛田栄 ▽資産税係(新採用) 菅野勇次 ▽納税係 高橋優子 (民生課) ▽民生課主幹(民生課住民係長) 徳田博司 ▽福祉係長(出納係長) 加藤光人

設備は幕別郵便局と同じ、自動ドア、身障者スロープ、駐車場などが設けられ、近代的で大変利用しやすい局舎に生まれ変わります。



札内郵便局建設予定地

係長(農業委員会振興係) 北原道喜 ▽林務係 金野忠 ▽畜産係 兼農政係 細岡澄子

〔開発商工課〕▽労政係長(札内支所総務係長) 佐々木定雄 ▽商工係兼労政係 宗像令子

〔幕別温泉〕▽総務係長兼業務係長(児童課庶務係) 小川幸男 ▽総務係兼業務係 横山義嗣 ▽同(新採用) 伊多良美 ▽同(新採用) 小林多佳恵

○建設部

▽建設部長(都市計画課長) 梅田音市 (都市計画課) ▽都市計画課長(学校教育課長) 中村寛 ▽計画係 中川輝彦 ▽管理係 鯨一郎 (車両センター) ▽運行係 牧野稔美 ▽同 河西信雄 ▽同 高森一男 ▽同 石田貢治

○水道部

〔水道課〕▽業務係長(幕別温泉

増え続ける救急出動

昨年一年間の統計から

幕別消防署では昭和五十六年一月から十二月までの火災発生状況と救急業務の統計をまとめました。この統計によりますと火災の発生は前年より二件少ない六件で、損害額も半減しましたが、救急車の出動件数は前年より十件多い二百十六件とわずかに増加したことがわかりました。

火災予防運動

四月二十日から五月九日まで、「毎日が防火デーです、ぼくの家」を統一標語に、春の全道火災予防運動を本町でも実施しています。長い冬から解放される四月、五月頃は空気が異常乾燥し、しかも強い風が吹くため野火など火災が発生しやすくなります。

火災発生状況

昨年一月から十二月までの一年間に発生した火災は六件（前年は八件）、内訳は建物五件、車両一件、月別では二月、八月、十月、十一月がそれぞれ一件、十二月が二件発生しています。

損害額は総額で九百三十八万円（前年は一千八百三十七万円）と半減しました。

出火原因は、たこ足配線によるコンセントの過熱、風呂の残り火の不始末、乾燥機械の故障、ストーブの火の不始末、（それぞれ一件）プロパンガスコンロの使用が

不適当なため（二件）となっています。このうち大半は普段から注意することによって防ぐことができたとみられています。

四月二十日から五月九日まで、「毎日が防火デーです、ぼくの家」を統一標語に、春の全道火災予防運動を本町でも実施しています。

長い冬から解放される四月、五月頃は空気が異常乾燥し、しかも強い風が吹くため野火など火災が発生しやすくなります。

町民一人ひとりが、火の元に十分気をつけ、火災をなくしましょう。

また、公区などで消火器の取扱いの講習会などを開催する時は、消防署まで連絡下さい。消防署員が講習を行います。

救急業務

昨年一年間に救急車の出動要請があったのは二百十六件と前年より十件の増。実際に病院へ搬送したのは百九十七件、二百三十八人

（前年は二百一人）で三日に二件の割合で救急車のサイレンが鳴っていることになりました。

救急車の出動が最も多かったのは急病の九十五件（九十六人）交通事故の四十五件（八十七人）一般負傷の三十件（三十人）労働災害の十一件（十一人）が主なものです。前年と比較してみますと交通事故による負傷者が二十五人も増加しているのが特に目立った点です。しかし、年間を通じて死亡事故はありませんでした。

また、傷害程度別では重症五十七人、中等症三十七人、軽症百四十四人で、このうち救急車を比較的必要としない者（お産、子供のケ、引きつけ、鼻血など）が四十四人もいました。この点については、普段から自分の健康状態を知っておくことや、病气やケガをした時に緊急を要する状態かどうかを、しっかりと見きわめることによって、防ぐことができた



急患を搬送する救急隊員

- ▽福祉係・三谷吉水
- ▽年金係・佐久間百合子
- ▽住民係長（開発商工課労働係長）松山友春
- ▽住民係・氏家政枝
- 〔町民課〕▽環境衛生係長（環境衛生係）藤内和
- 三
- ▽交通防災係・山田均
- ▽広報広聴係（新採用）土井秀樹
- 〔児童課〕▽庶務係長兼児童係長（町民課環境衛生係長）浅見康夫
- ▽庶務係・齊藤久三男
- ▽児童係・吉井富美江
- ▽中央保育所（新採用）居川礼子
- ▽みどり保育所・大前美佐子
- ▽同（新採用）広瀬明美
- ▽南保育所・詫間君恵
- ▽同・岡田則子
- ▽同（新採用）沢田直美
- ▽さかえ保育所（新採用）若原和恵
- ▽青葉保育所・飛田由美子
- ▽同・羽磨美智子
- ▽北保育所・西垣くら
- ▽同・吉田陽子
- ▽同・菅野陽子
- ▽同・高橋ひとみ
- ▽同・北啓子
- ▽同（新採用）横山登美子
- ▽同（新採用）太田典子
- ▽同（新採用）逢坂直美
- 〔出納係〕▽出納係長（水道課業務係長）佐藤正昭
- ▽出納係・木村恵美子
- ▽総務部付・小山建一
- ▽北海道へ派遣・増子一馬
- 札内支所
 - ▽総務係長（児童課庶務係長兼児童係長）本間哲也
 - ▽住民係・三谷美子
- 経済部
 - 〔農林課〕▽農政係長（農林課農業企画係長）井上恒夫
 - ▽農政係・島田吉昭
 - ▽同・妹尾真
 - ▽畜産
- 総務係長兼業務係長）小野典昭
- 議会事務局
 - ▽事務局長（農業委員会事務局長）森田功
 - ▽庶務係長兼議事係長（農林課農政係長）早苗茂
- 農業委員会
 - ▽事務局長（企画財政課企画係長兼統計係長）松山雄三
 - ▽振興係・山根誠
 - ▽同・磯部康志
- 教育委員会
 - ▽教育次長兼学校教育課長（企画財政課長）前原昶
 - 〔学校教育課〕▽総務係・菅原厚子
 - ▽学校教育係・藤井秀雄
 - ▽同・西出盛雄
 - ▽同・城石博明
 - ▽同・田中和枝
 - ▽同・浅田範子
 - 〔社会教育課〕▽社会教育課長（議会事務局庶務係長兼議事係長）小尾和夫
 - ▽社会教育係・横山泰
 - ▽同・菅好弘
- 幕別消防署
 - ▽消防課庶務係（新採用）田中弘樹
 - 東十勝消防事務組合
 - ▽総務係（新採用）石野郁也
 - 十勝教職員研修センター組合へ派遣・増山みつる
 - 幕別豊頃学校給食組合へ派遣・七条繁秋
 - 〔退職〕三月三十一日付
 - ▽杉山孝（建設部長）
 - ▽宗内喜代志（議会事務局長）
 - ▽高簿光雄（水道課）
 - ▽近藤舜治（学校教育課）
 - ▽森田一夫（都市計画課）
 - ▽所邦子（総務課）
 - ▽岡本ひとみ（民生課）
 - ▽西原和代（幕別温泉）
 - ▽野村美恵子（幕別温泉）

安全運転で楽しい行楽を

五月は、ゴールデンウィークもあり、鮮やかな新緑に誘われて、マイカーを利用したドライブの機会が多くなる季節です。それだけに、一年のうちでも、この時期は交通事故が多く発生する傾向にあります。

新緑の行楽期を安全に楽しく過ごすために、ドライバーの方にぜひ励行していただきたい事項をまとめてみました。

思いやりのある運転を……

気心の知れた家族や仲間とのドライブは、ややもすると気持ちが悪みがちになります。ドライバーの方は、自分を含めて同乗者など多くの生命を預かっていることを強く自覚したいものです。

「無理をしない」「他人に迷惑

をかけない」という、思いやりのある交通マナーを心掛けた運転を励行しましょう。

余裕をもったスケジュールを……

行き当たりばったりのドライブや旅行は危険がいっぱいです。目的地までの距離、道路状況、

交通事情をあらかじめ検討し、休

クルマの点検整備は念入りに……

出発の前には、各部の点検を念入りに行い、車の機能をベスト・コンディションにしておきましょう。

車が故障してしまつたら、せっかくの行楽もだいなしになってしまいます。

安全運転のために必ず守ろう……

ドライバーに当たっては、ぜひ、次の基本的な事項を守りましょう。

●シート・ベルトの着用を

「シート・ベルトなんか……」とつい怠りがちですが、シート・ベルトの着用が事故による被害を、防止・軽減するのに、大きな効果があることは、多くの実例によって証明されています。同時に、シート・ベルトの着用

は運転姿勢を良くし、運転による肉体的疲労を軽減する効果もあるのです。ドライバーはもちろん、同乗者もシート・ベルトの着用をお忘れなく。

●飲酒運転は絶対にしない、させない

行楽期は酒を飲む機会も多くなります。「運転するときは飲まない」「飲んだら運転しない」「飲んだ者には運転させない」の三原則

を守り、ドライバーは飲酒運転を絶対しないようにするとともに、同乗者や周りの人も飲酒運転をさせないようにしましょう。

●制限速度を守り、スピードは控えめに

路線や区間ごとに、道路や交通の事情に応じた制限速度を守り、スピードを控え目にして、安全運転に徹しましょう。同乗者の方は、ドライバーに無謀なスピードを出すよう勧めたり、あおったりしないように十分注意

をしましょう。

●休息は十分に

長時間運転の場合は、できるだけ交代して運転するか、交代する人がいないときは、休息を十分にとりましょう。

●車間距離は十分に

ドライバーが危険を感じてブレーキを踏んでも、クルマは急に止まりません。車が止まるまでには、ブレーキ

を踏んでから実際に効き始めるまでの距離(空走距離)と、ブレーキが効き始めてから止まるまでの距離(制動距離)とを合わせた「停止距離」を必要とします。

この停止距離は、速度が増せば増すほど長くなりますので、ドライバーは、車の速度、天候、路面やタイヤの状態、疲労の程度などを考え、常に十分な車間距離をとるようにしましょう。



空カンを捨てない!

— 処理機の利用を —

私たちは、美しい自然を守り、限りある資源をつぎの世代に引き継いでいかなければなりません。もし、今までと同じように、空カンが心ない人によって捨てられ、拾ってくれる人がいなくなつたら、どうなるでしょうか。

道路、公園等は空カンの山となり、非常にきたなくります。そのため、街中にくずかごを用意し、

また、立看板を設置したりして皆さんに呼びかけています。もし、くずかごが見当たらなければ家まで持ち帰るといふ習慣をつけましょう。何といつても一人ひとりの心掛けが一番大切です。町および町衛生会では昨年十月、国道三十八号沿線に散乱している

空カンを回収しましたが、今年も春、秋、町民の皆さんの参加、協力を得て、町内散乱箇所の回収を予定しております。また、空カン処理機(ペタル式圧縮)を二台導入、幕別(役場)札内(役場支所)にそれぞれ配置しております。この処理機は誰にでも簡単に操作出来ますので、資源回収運動と併せて利用していただきたいと思ひます。



相川南公区で空カン拾いをしました

健康カルテ 13

腰痛

最近、腰痛を訴える人が増加してきております。腰部に不自然な力が加わる姿勢での作業は腰筋や靭帯の疲労をまねき腰痛の原因になり、又、歩くことの少ない現代社会人は、運動不足による筋力の減退をきたし、ギックラ腰などを起こしやすくなっています。

「50歳になって、それまでに腰の痛みの経験のない人はまずいない」と言われるほど腰痛を訴える人は多く、人間が4つ足動物から進歩して立って生活するようになったための宿命とも言われています。立っていると腰の骨に力が加わり40歳から50歳になると、それが痛みとしてあらわれてくるからです。

●治療方法

心配のいらぬ腰痛もあるが、ひとりよがりの診断をしたり、素人療法で、こじらせたりして治療の時期を失わないよう、原因をはっきりさせるための早期診断が必要です。

- ①神経圧迫などの機械的因子を排除する。
- ②ギブスベットの、コルセット、さらしなどによる固定をする。
- ③理学療法：腰部の筋および靭帯の疲労性疼痛が関係しているため、局所の循環をよくするため、マッサージ、温熱浴、温水浴、超短波などを行う。
- ④薬物療法を行う。

●日常生活の注意

- ①太った人、腰の骨が前にそった人などは、特に腰痛を生じやすいので、日頃から腹筋やひざの筋肉を訓練するよう心がけましょう。
- ②常に正しい姿勢をとりましょう。(前かかみ、中腰は良くありません)
- ③腰痛を予防するため、体操で筋力をつけましょう。(朝起きたときに、からだを伸ばすなどして、ふだんの運動不足からくる障害を少しでも取り除きましょう)

皆さんの苦情や要望

行政相談委員へ

ふだんの生活で、何か不便を感じていることはありませんか。

国や道などの仕事のこと、個人では解決できず困っていることはありませんか。

このような行政上の苦情、要望、問い合わせを聞いて問題の解決に努力し、町民のためによりよい行政を目指す。——これが「行政相談」の目的です。

行政機関が行っている仕事について、相談したいことがあります。たら、どんなことでも結構です。で、お気軽に行政相談員にご相談ください。

「行政相談」は、あなたの生活と行政をつなぐパイプです。



行政相談をうける千葉さん

明るく住みよいまちづくりのために、「行政相談」をご利用ください。

相談は口頭、電話のいずれでも受け付けます。午前九時から午後五時までは役場町民課内、行政相

談員千葉良治さんまで。午後五時三十分以降は札内泉町(六一二六三六)の自宅を受けております。

寄付者のお名前

■町社会福祉協議会へ……

▽石川活昭さん(相川)から父が生前お世話になりましたと二万円

▽斉藤静子さん(豊岡)から夫が生前お世話になりましたと五万円

▽幕別町技能士会(会長・柳沢正義さん)から二万二千三百円

▽匿名の方から一千元

■老人クラブへ……

▽石川活昭さん(相川)から幕別老人クラブ、相川南老人クラブへそれぞれ二万円

▽森脇智子さん(明野)から明野新川長寿会へ三万円

▽門サダヨさん(札内若草町)から札内鉄南老人クラブへ三万円

▽木村茂さん(寿町)から幕別老人クラブへ三万円

北海道農協乳業(株)から 百五十万円の寄付

北海道農協乳業株式会社(音更町)から創業十五周年を記念して町酪農振興に役立ててほしいと百五十万円の寄付がありました。



お願い

公区・地域などで行事等を開催した場合は、簡単な内容写真2種類を町民課広報広聴係までお寄せ下さい。広報紙に「町のニュース」という題で掲載いたします。

真心を大切に!

幕別町公民館運営審議会では、「新生活運動」の協力と実行を町民の皆さんに呼びかけています。

■社会生活の慣習について

①公共物はみんなのもの、大切に扱っていきましょう。

②物を大切に、使い捨てはやめましょう。

③みんなの思いやりで各種会議、会合の時間を守りましょう。

④出産祝、病氣見舞、餞別などは最小限にとどめ、お返しはしないようにしましょう。

幕別町公民館運営審議会

幕別ものがたりで紹介した小野式除草ハローが 北海道の窓(NHK)に出ます。

5月4日(火)

十勝歴史点描一大正13年一

特許第1号小野式ハロー登場

朝7:30 昼1:25(再放送)



参加は無料・申込みはお電話で(20日まで)

歴史散歩

5月23日

町の歴史を探しに行きませんか。

出発は町民会館を9:30

札内福祉センターを10:00

で終了は午後3:00。

幕別最初の市街地跡や渡船場、土器の出土地などを訪ねます。町のバスで回ります。昼食はご持参下さい。

みんなおいでよ!

こどもまつりは5月5日

五月五日は「子どもの日」。ふるさと館も子ども中心の「ふるさと館こどもまつり」だよ。おなじみ工作コーナーでは水鉄砲、紙鉄砲、竹トンボを作ってみる。土が顔を出した。外の遊びもたくさんあるよ。ビー玉、缶けり、陣取り、馬跳び、釘さし……みんなの知らない遊びがいっぱいあるから、おもしろいと思ったら友だちに教えてあげよう。

ふるさと館スタッフのおじさんやおばさんが子どものころは、今みたいにおもちゃをたくさん買ってもらえない時代だった

5月22日まで………抽選は23日

サバイバルスクール参加者募集

今から九十年前も前、原始林におわられた土地をノコとオノで切り開いた人たちがいた。そうした苦労を何代も重ねてきたからこそ、私たちの町があります。

開拓者の苦労をほんの少しでも体験してみようというのがサバイバル・スクールです。真夏に働くどれだけの汗が出るか、のどがかわくのか……少しは昔の人の気持ちに近づけるかもしれません。自然とともに暮らす知恵も勉強してみよう。ちよっぴりたくましく

なれる夏休みになる。募集するのは①小学四年生(10名) ②同五年生(10名) ③同六年生(15名) ④中学一年生(15名) 参加料は千円(応募のきまり) ハガキに住所・氏名・学校名と学年・自宅の電話番号・保護者のサインを書いてふるさと館へ送ってください。▼しめきり 5月22日 ▼発表 希望者多数の場合は5月23日午前11時に公開抽選をします。次号のふるさと館ニュースにも参加者を掲載します。



サーモン通信 ⑬

4月15日、札内中学校の生徒たちが育てたサケが海へ旅立ちました。西口智恵さんが「鮭に贈る言葉」を書いてくれました。鮭におくることば

11月の始めから札中の廊下ですくすく育つ鮭私達に魚類の育ちを教えたくれた元気に泳いでずいぶん積達の心をなぐさめてくれたほんとうにありがとう いよいよお別れの時が来た 途別川の水は冷たい、けれど大丈夫 お前の体は寒さにはなれないはず 死んでくさったえさを食べてはだめだよ 元気のいい小虫を食べるんだよ うぐいやへんに気をつけるんだよ それから海が近くなったら ゴメやうみがお前をわらっている あまり水の表面近くに出ないようにするんだよ 雪どけのたぐりゅうの時は水底の玉石や岸近くに ゆるやかな流れのところがあはず そこを上手に伝わって下れよ

第26回 幕別ものがたり

昭和のはじめ頃、50年も昔になるな。冬のしげははきびしいものだった。まだゴム長のない頃で、つまごやゴムの短靴で雪道の通学には泣いた。アイヌの子らは鮭の皮の靴、はいとつた。ふるさと館のある山の上から通う子らは、毛布の切れっぱしのような厚い布で足を包んで歩いてきとつたが、「いたい、いたい」と泣いていたよ。

原始林、ヤマベ釣り

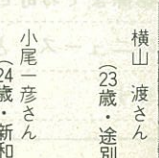
アメリカ人形

戦争中に伐り倒されてしまった。今は営林署の苗圃になっている。それからもう一つの自慢は昭和2年に日米親善使節として全国の小学校に配られたアメリカ人形が倉庫の中で眠っていたんだ。今は

この小川も国道が学校のすぐ裏を通るようになって33年頃かな。今では汚ないたまり水になってしまっている……卒業生の一ばんの思い出は大きなニレ(アカダモ)イタヤ、桂、カエデなどの老木、今も大きな根つこが校門の向って左手に残っている。見ておくといいよ。前も後も原始林で黒々と茂り、ふるさと館のある山も見えないくらいだったけど、

の裏に小さな川が流れていた。それはきれいな湧水で、冷たい水だったな。放課後には飛出して、夕暮の小枝の竿でよく釣れたね。ヤマベ、イワナ。それからオシヨロコマも釣ったよ。イトウを釣った奴もおつたね。

▼郷土史研究班の新人スタッフ二人が決まりました。よろしく。



白人村開拓民が草葺、草壁の堀立小屋・15坪を私費、18円で買い建て敷きに黒板一枚、座机一つ、教師一名、生徒11名で、明治30年11月3日、私立白人教育所として開校。翌31年別奴村との合意で白人村との境、現在地に29坪、寄附金157円で新築。33年、猿別小分校、34年、公立白人尋常小学校として独立。現校舎は昭和7年に落成、480坪。54年、札内南小学校、56年札内北小学校分離。57年11月はじめには、新校舎が4800平方メートル(1500坪)工費8億円をかけて、コミュニティー・スクールとして、落成する。札内地区の人口増で町内では最も急激な変貌をげた学校である。(取材・相沢和子)

はるばる海を越えて贈られたアメリカ人形は戦時中に焼き捨てられることなく、今も白人小学校に大切に保管されている